

# ノマドクラウド

～AOS物件連動ツールによる物件連動について～

---



ITANDI BB +  
nomad cloud

# 抽出対象となる物件

- ・ AOSで管理されている企業全体の物件情報が同期されます。  
（企業コードを指定して物件を取得しているため）
- ・ 物件連動ツールで抽出対象となる物件は、以下2つです。

(1) 自店舗で登録した物件  
(※広告許可設定に関わらず、すべて対象)

(2) 自店舗登録以外の物件は、その店舗で「広告許可設定」の「アパマンショップ及びマンスリーサイト掲載可」にチェックを入れた物件

(※「WEB掲載設定」の「アパマンショップへ掲載する」へのチェックの有無は影響しない)

なお、(2)の物件には下記4種類があり、公開対象条件にその店舗が当てはまる場合、その物件データはAPI抽出対象となります。

物件登録元	公開対象条件
他店舗登録物件	自企業G(友達G)
APS	全店公開 or 自企業G(友達G) の選択制
APSS	全店公開
登録センター	登録センター利用企業

APSS物件については、AOS側の制約により取得できません。  
物件数が多すぎる場合、システムエラーとなります。

# 取得物件

- ・ 「更新」された物件のみ取得します。
- ・ 「更新」扱いの条件は以下の通りです。

## <最終日時が更新される項目>

「共通項目」(賃料、設備等)が変更された場合

- ・ 物件情報
- ・ 建屋情報
- ・ 部屋情報
- ・ 設備情報
- ・ 画像(企業別画像、店舗別画像を除く)

## <最終日時が更新されない項目>

「店舗固有情報」(店舗別画像、PRコメント、WEB掲載設定など)のみが変更された場合

- ・ 元付業者情報
- ・ 企業情報
- ・ 店舗情報
- ・ オーナー情報
- ・ 貸主情報
- ・ 管理会社情報
- ・ 制御情報
- ・ 画像(企業別画像、店舗別画像)

# 事前準備

1. テストツールにてAOS APIの利用権限があるアカウントか確認  
詳細: <https://nc.support.itandi.co.jp/hc/ja/articles/360012322553>
2. 下記のファイルをPC内にダウンロード  
<https://drive.google.com/drive/u/0/folders/1oQoBlpqiX4UM9lsmstfJjYgjN-XbMSFt>
3. タスクスケジューラの設定が必要となるため、Windowsのログインパスワードが設定されていることを確認する  
設定方法は下記参照  
<https://askpc.panasonic.co.jp/beginner/guide/ten07/7007.html>

# 設定手順①～aos-config.txtファイルの作成～

事前準備で格納したファイル内の【aos-config.txt】を開き、表示された下記のコードに企業コード・店長権限を持った店舗ログインできるAOSのアカウント名・パスワード・店舗コードを入れる

↓コード↓

```
{  
  "KigyoCode": "企業コード",  
  "Params": [  
    {"UserId": "店長権限のアカウント名", "Password": "パスワード", "TenpoCode": "店舗コード", "RetrievalTimeSpan": 14400}  
  ]  
}
```

複数店舗分のAOSを設定される際は下記の用に記載します。

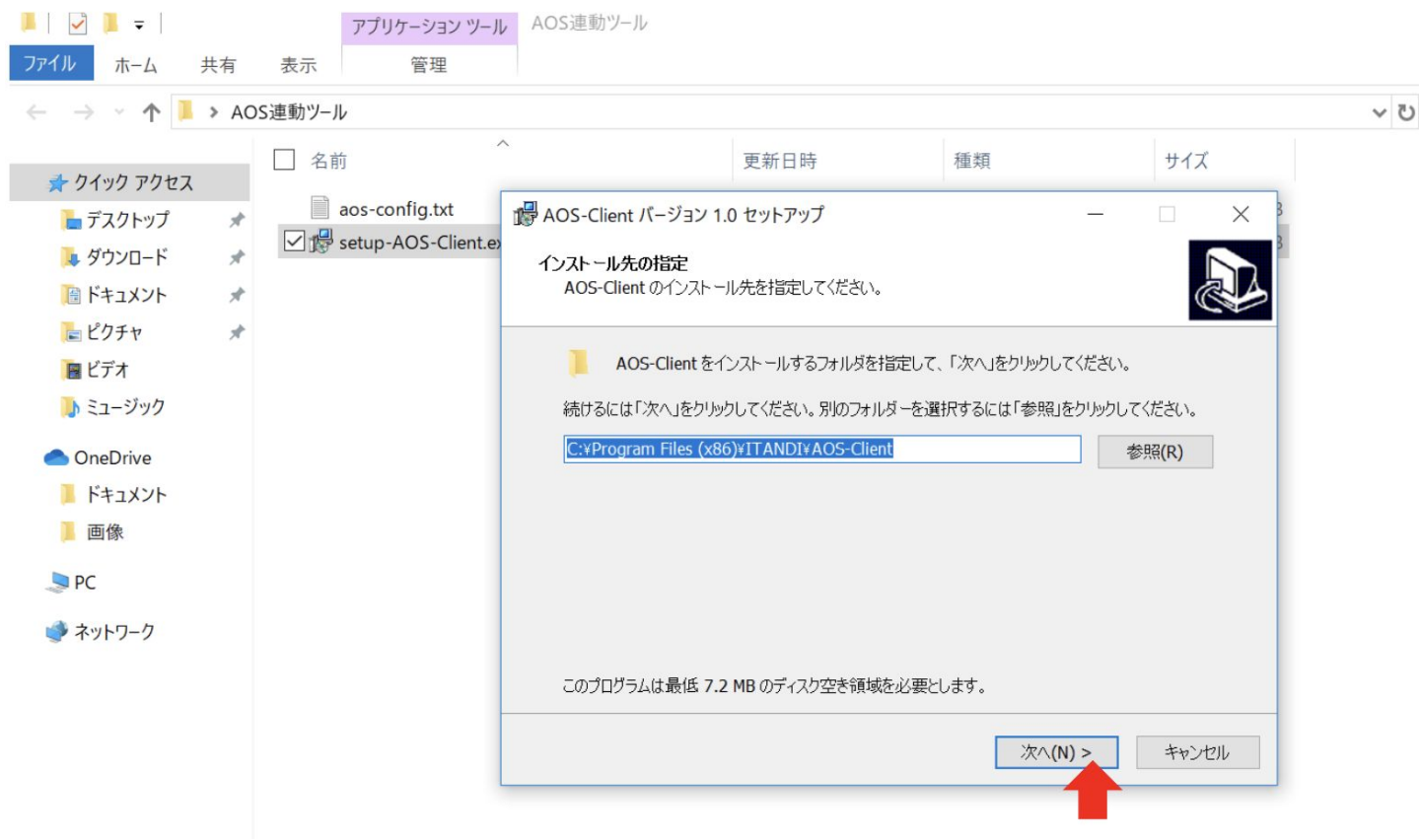
### 例: 3店舗の場合

```
{
  "KigyoCode": "企業コード",
  "Params": [
    {"UserId": "店長権限のアカウント名", "Password": "パスワード", "TenpoCode": "店舗コード", "RetrievalTimeSpan": 14400},
    {"UserId": "店長権限のアカウント名", "Password": "パスワード", "TenpoCode": "店舗コード", "RetrievalTimeSpan": 14400},
    {"UserId": "店長権限のアカウント名", "Password": "パスワード", "TenpoCode": "店舗コード", "RetrievalTimeSpan": 14400}
  ]
}
```

店舗数を増やす場合、[ RetrievalTimeSpan": 14400]の末尾に[, (カンマ)]を挿入し、[ {"UserId": "店長権限のアカウント名", "Password": "パスワード", "TenpoCode": "店舗コード", "RetrievalTimeSpan": 14400}]のブロックごと複製して追加します。

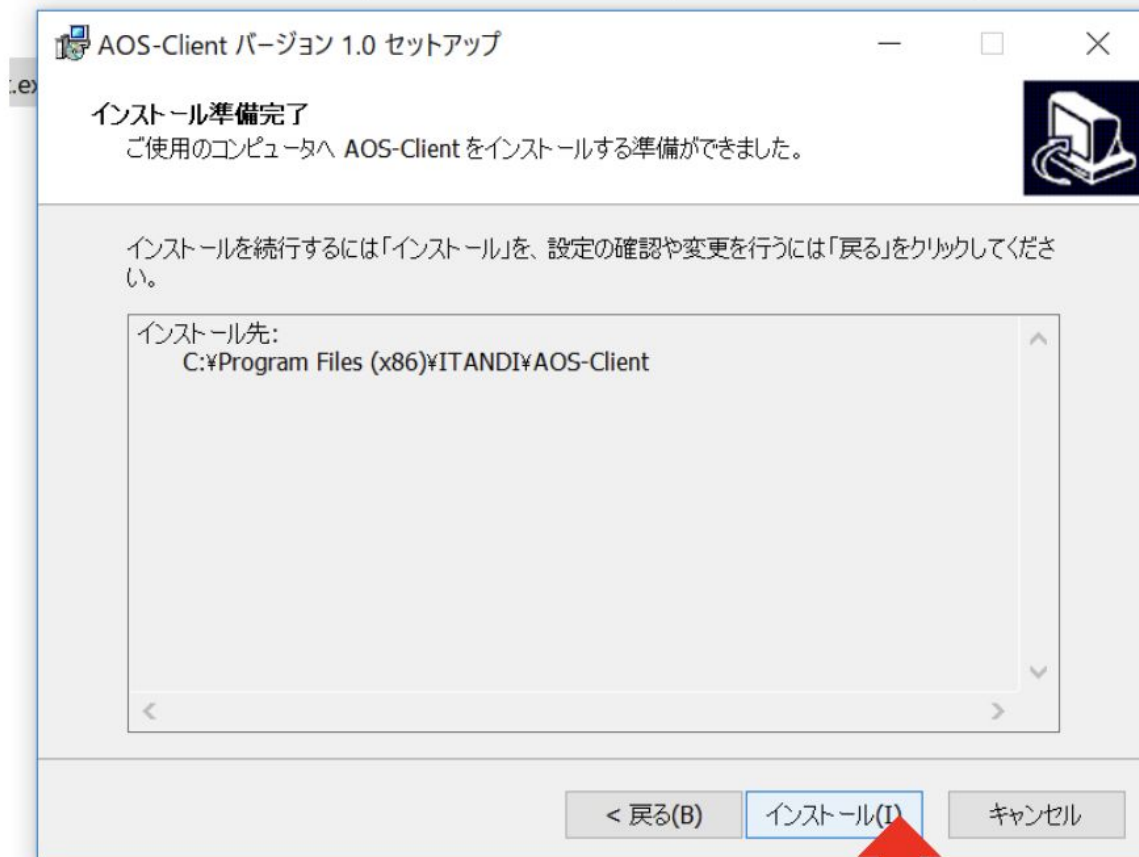
## 設定手順②-1～AOSセットアップツールのインストール～

事前準備でダウンロードしたファイル内の【setup-AOS-Client\_202011.exe】ダブルクリックするとインストール先の設定画面が表示されるので次へをクリック



## 設定手順②-2～AOSセットアップツールのインストール～

インストール準備完了画面が表示されるので、「インストール」をクリックしてください。

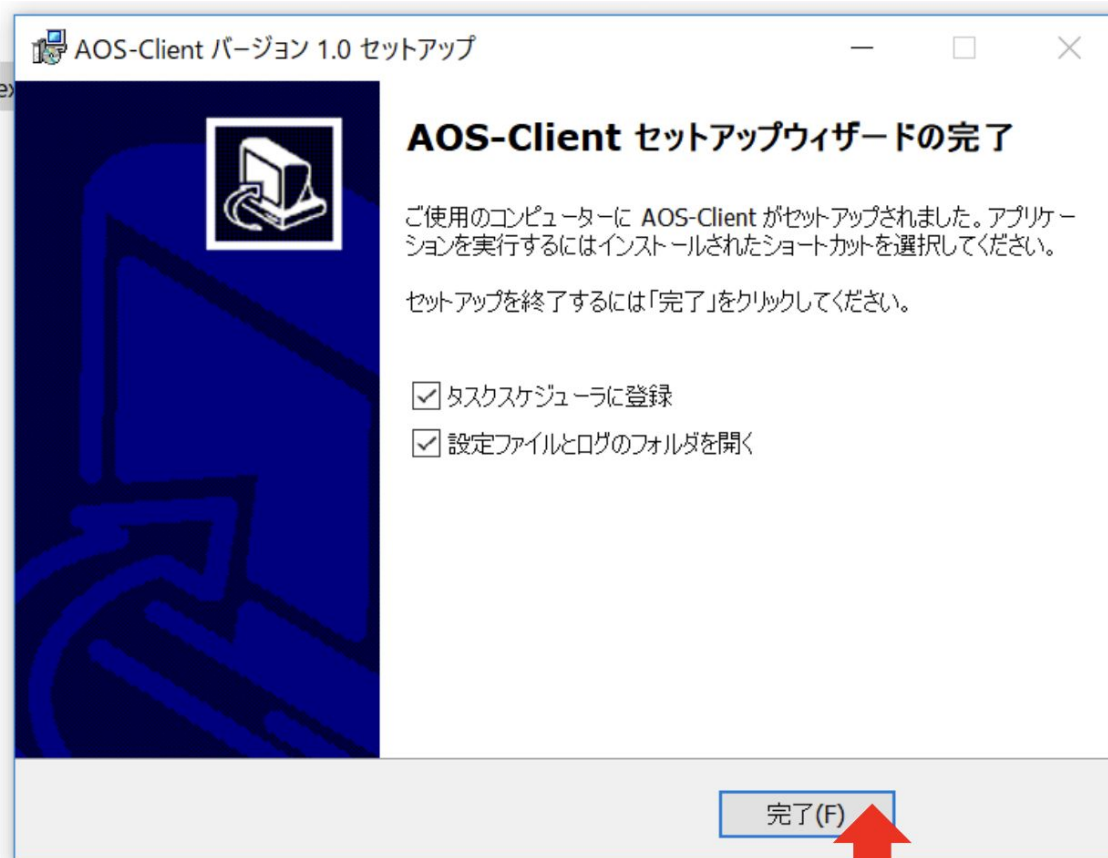


## 設定手順②-3～AOSセットアップツールのインストール～

AOS-Client セットアップウィザードの完了画面が表示されますので、

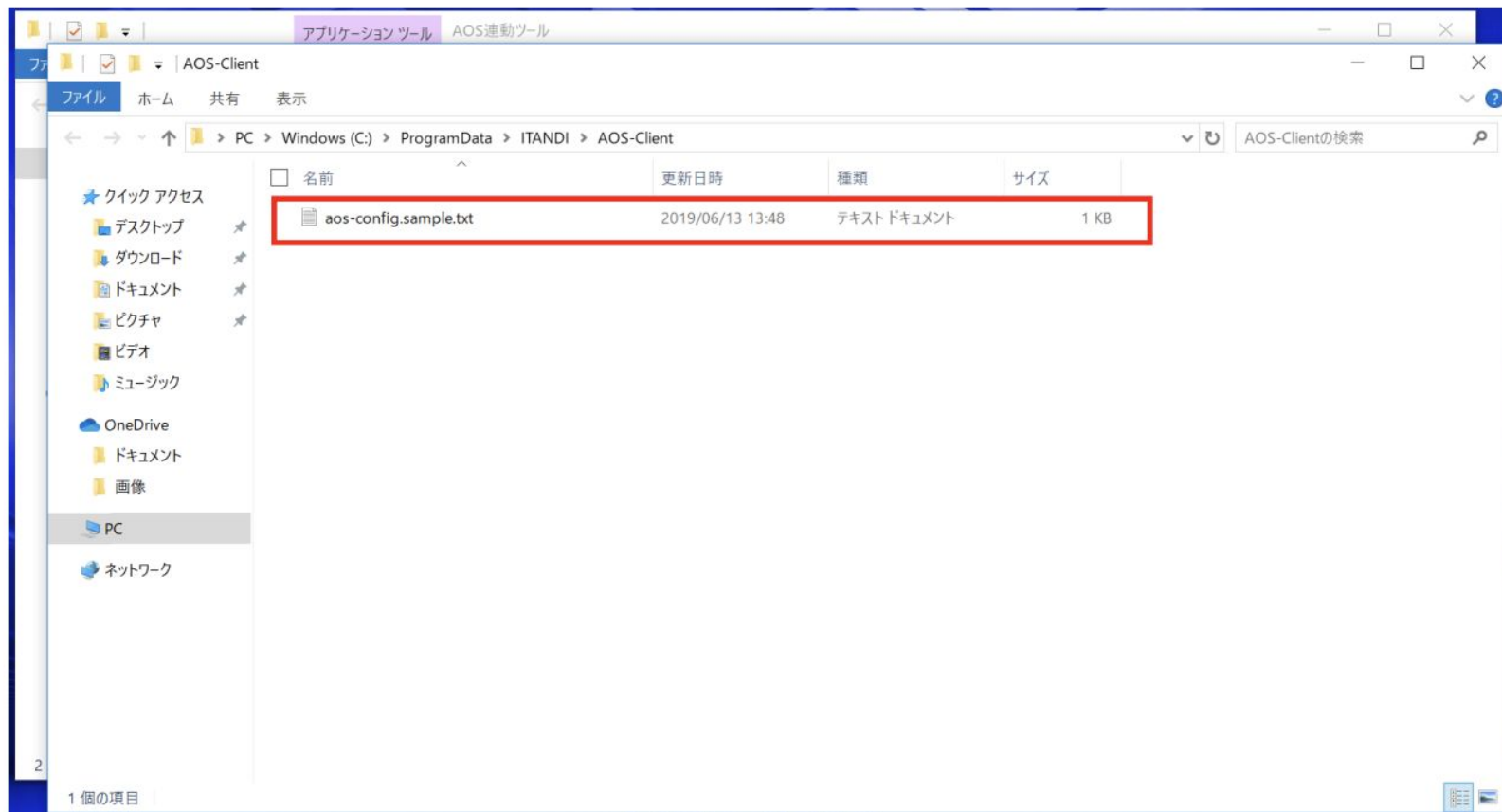
- ・「タスクスケジューラに登録」
- ・「設定ファイルとログのフォルダを開く」

の両方にチェックをいれて、「完了」をクリックします。



## 設定手順②-4～AOSセットアップツールのインストール～

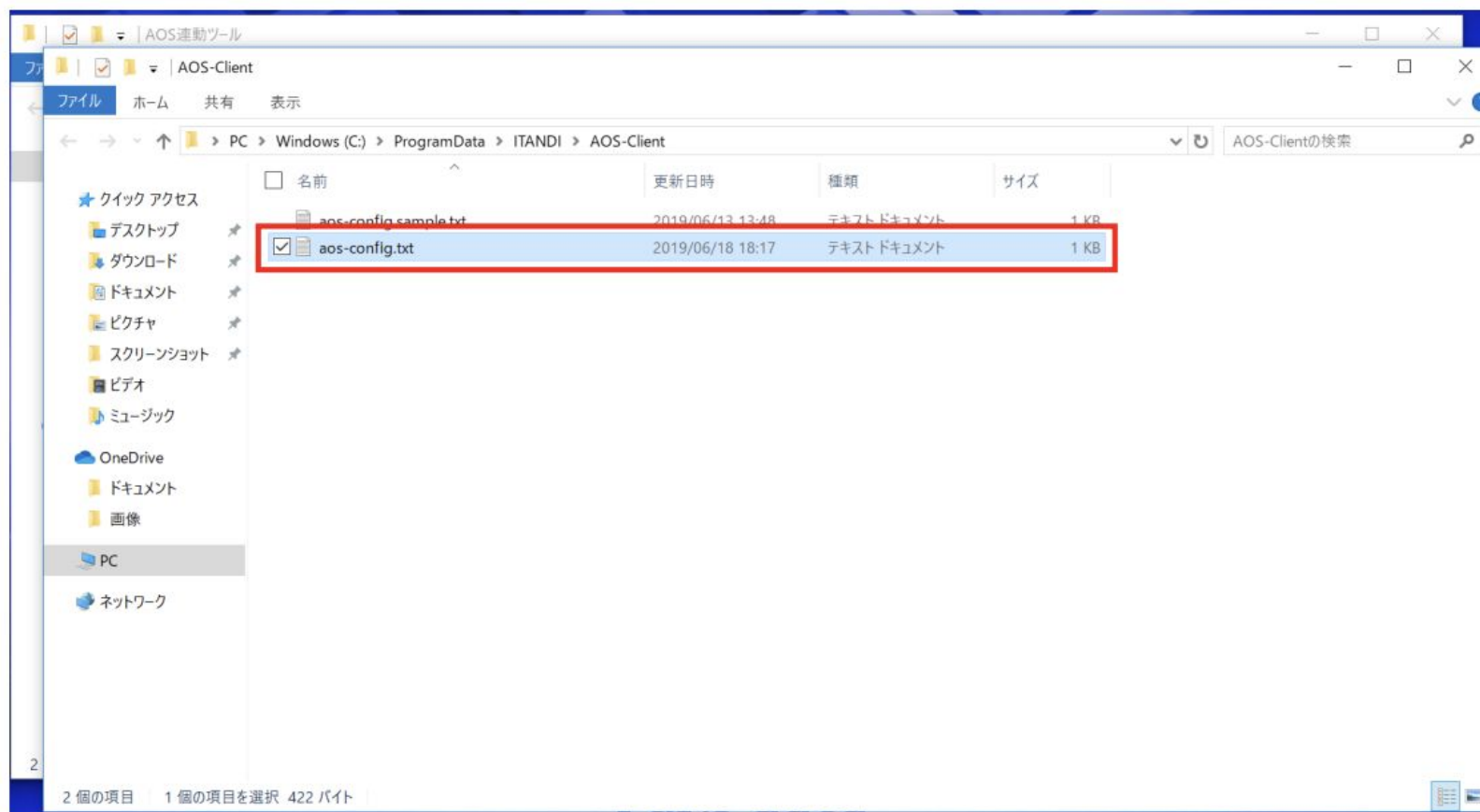
AOS-Client の設定とログのフォルダが、自動的に開きます。  
このフォルダの中には、【aos-config.sample.txt】というファイルが入っています。



## 設定手順②-4～AOSセットアップツールのインストール～

設定手順①で作成した【aos-config.txt】というファイルを AOS-Client フォルダの中にコピーしてください。

※「aos-config.sample.txt」を削除する必要はありません。



## 設定手順③-1～インストール先へのAPIファイル上書き作業～

フォルダー検索で先程インストールした

C:\Program Files (x86)\ITANDI\AOS-Client を検索してフォルダーを開きます。



## 設定手順③-2～インストール先へのAPIファイル上書き作業～

事前準備でダウンロードしたファイル内にある【aos\_api.dll】を  
C:\Program Files (x86)\ITANDI\AOS-Client フォルダに入っている  
【aos\_api.dll】に上書きコピーします

## 設定手順④～テスト実行～

事前準備でダウンロードしたファイル内にある【test\_run.bat】をダブルクリックすると下記のように表示されます。

```
C:\Program Files (x86)\ITANDI\AOS-Client>aos.exe get
I, [2022-01-19T18:41:27.821280 #12228] INFO -- : ITANDI, AOS-Client, Version: 2020-1110
I, [2022-01-19T18:41:27.960842 #12228] INFO -- : aos-cli 1.0.7619.33467
I, [2022-01-19T18:41:27.961402 #12228] INFO -- : #<Process::Status: pid 10816 exit 1>
I, [2022-01-19T18:41:27.961664 #12228] INFO -- : get
I, [2022-01-19T18:41:27.962112 #12228] INFO -- : loading config
C:\ProgramData\ITANDI\AOS-Client\aos-config.txt
```

成功すると下記のような表示となります。

```
I, [2022-01-23T19:05:54.998316 #9524] INFO -- : report_to_s3: reporting to s3: key=0037/20220123_190122/sent.txt
```

## 設定手順⑤-1～タスクスケジューラ設定～

タスクスケジューラを起動し、タスクスケジューラライブラリ  
→AOS BUKKENをクリック

「編集」から既存のタスクの時間設定を10時14時18時22時に変更します。

The image shows two overlapping dialog boxes from the Windows Task Scheduler. The background dialog is 'トリガーの編集' (Edit Trigger) for a task named 'AOS\_BUKKEN'. The 'タスクの開始(G):' (Task start) is set to 'スケジュールに従う' (Follow schedule). Under '設定' (Settings), '毎日(D)' (Daily) is selected. The start time is '2022/08/29 10:00:00'. The interval is '1 日' (1 day). Under '詳細設定' (Advanced settings), '繰り返し間隔(P): 10 分間' (Repeat every 10 minutes) is checked, and '有効(B)' (Enabled) is checked. The foreground dialog is 'AOS\_BUKKEN のプロパティ (ローカル コンピューター)' (Properties of AOS\_BUKKEN). It shows a table of triggers:

トリガー	詳細
毎日	毎日 10:00 に起動 - トリガーされた後、1 時間 の間 10 分間 ごとに繰り返す
毎日	毎日 14:00 に起動 - トリガーされた後、1 時間 の間 10 分間 ごとに繰り返す
毎日	毎日 18:00 に起動 - トリガーされた後、1 時間 の間 10 分間 ごとに繰り返す
毎日	毎日 22:00 に起動 - トリガーされた後、1 時間 の間 10 分間 ごとに繰り返す

## 設定手順⑤-2～タスクスケジューラ設定～

ログオフ/サインアウト時でも、タスクを稼働させる必要があるため

タスクのプロパティ-全般設定のセキュリティオプション

「ユーザーがログオンしているかどうかに関わらず実行する」にチェックします。

The image shows a screenshot of the Windows Task Scheduler 'Task Properties' dialog box, specifically the 'Security Options' tab. The dialog box has a title bar 'タスクの作成' and a close button. It contains several tabs: '全般', 'トリガー', '操作', '条件', and '設定'. The '全般' tab is active. The '名前(M):' field is '定期レポート1'. The '場所:' field is '¥'. The '作成者:' field is 'M'. The '説明(D):' field is empty. Below the '全般' tab, there is a section titled 'セキュリティ オプション'. The 'タスクの実行時に使うユーザー アカウント:' field is 'M'. To the right of this field is a button 'ユーザーまたはグループの変更(U)...'. Below this, there are three radio button options: 'ユーザーがログオンしているときのみ実行する(O)', 'ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する(W)', and 'タスクを実行するときに、タスクが実行できるのはローカル コンピューター リソースのみ'. The second option, 'ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する(W)', is selected and highlighted with a red rectangular box. Below these options, there are two checkboxes: '最上位の特権で実行する(I)' (unchecked) and '表示しない(E)' (unchecked). At the bottom, there is a '構成(C):' dropdown menu showing 'Windows Vista™, Windows Server™ 2008'. At the very bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' buttons.

これで設定が完了です！

設定完了後、弊社に正常にデータがアップロードされたか、確認  
させてもらうので担当にご一報をお願い致します。

